

脚折雨乞

脚折雨乞は、鶴ヶ島市脚折地区に伝わる降雨祈願の伝統行事で、その起源は江戸時代にまで遡ります。



明治時代の記録によると、「雷電池のほとりの脚折雷電社に雨乞いをすると、必ず雨が降った。しかし寛永の頃、開墾で池を縮めたため、大蛇がいなくなり、雨が降らなくなりました。そこで板倉雷電神社で降雨祈願をして池の水を持ち帰ると、見事に雨が降り始めた。」とされています。

かんばつの年に行われていた雨乞いも、昭和39年を最後に途絶えてしまいます。しかし雨乞いの持つ地域の一体感を再認識した地元脚折地区の住民によって「脚折雨乞行事保存会」が結成され、昭和51年に復活させました。それ以降、4年に一度行うようになり、現在まで継承されています。

脚折雨乞では、竹と麦わらで作られた重さ約3tにも及ぶ「龍神」が、300人の男衆によって担がれ、白鬚神社から雷電池までの約2kmを練り歩きます。池の中で雨乞いを行った後、龍神は担ぎ手によって解体され、天へと昇っていきます。

- ◆長さ36m
- ◆重さ約3t
- ◆頭の高さ4.5m
- ◆開いた口（直径）1.6m
- ◆太さ（頭部に近い胴周り）6m
- ◆目玉（直径）0.25m
- ◆角の長さ4m
- ◆鼻の穴（直径）0.18m
- ◆頭の幅2m
- ◆材料「竹80本、麦わら700束」

龍蛇の
大きさ



※「龍蛇」は入魂の儀ののち「龍神」となります。

令和6年 8月4日(日)

13時出発～17時終了(雨天決行)

龍蛇
製作

7月27日(土) 午前8時より(雨天翌日)

於：白鬚神社南側通路

生中継情報

● ネット (YouTube) で見る



URL

[https://www.youtube.com/live/](https://www.youtube.com/live/Wr6DECiff84?si=TBGGDJOVsV73nT2x)



Wr6DECiff84?si=TBGGDJOVsV73nT2x



● 大型ビジョンで見る

【雷電池】11:00～行事終了まで



大型ビジョンにて、製作状況や過去の映像の配信、生中継放送の同時上映等を行います。

交
通

【自動車】 関越自動車道 鶴ヶ島ICより5分

首都圏中央連絡自動車道 圏央鶴ヶ島ICより7分

【鉄 道】 白鬚神社 東武東上線「坂戸駅」より徒歩25分

雷電池 東武東上線「若葉駅」より徒歩15分

つるバス南北線時刻表

若葉駅西口	最寄りバス停 星和住宅前	鶴ヶ島市役所	最寄りバス停 星和住宅前	若葉駅西口
10:38 ⇒	10:40	13:46 ⇒	13:49 ⇒	13:54
11:23 ⇒	11:25	14:11 ⇒	14:14 ⇒	14:19
11:43 ⇒	11:45	14:31 ⇒	14:34 ⇒	14:39
12:08 ⇒	12:10	14:56 ⇒	14:59 ⇒	15:04
12:28 ⇒	12:30	15:16 ⇒	15:19 ⇒	15:24
13:13 ⇒	13:15	15:41 ⇒	15:44 ⇒	15:49
14:01 ⇒	14:03	16:01 ⇒	16:04 ⇒	16:09
14:26 ⇒	14:28	16:26 ⇒	16:29 ⇒	16:34
14:46 ⇒	14:48	17:23 ⇒	17:26 ⇒	17:31
15:11 ⇒	15:13	17:30 ⇒	17:33 ⇒	17:38
15:31 ⇒	15:33	18:05 ⇒	18:08 ⇒	18:13
15:56 ⇒	15:58	18:30 ⇒	18:33 ⇒	18:38

問合せ

鶴ヶ島市教育委員会 生涯学習スポーツ課文化財担当

TEL 049 (285) 2194 (直通)

H P <http://www.city.tsurugashima.lg.jp/>

主 催

脚折雨乞行事保存会

脚折雨乞

検索



巨大な龍蛇が練り歩く

雨乞いのまち鶴ヶ島

すねおりあまごい

脚折雨乞

国選択無形民俗文化財・鶴ヶ島市指定無形文化財

